

報告書抄録

ふりがな	くらだにしなかだいせき2 くらだにあらたいせき2 とよしげかのうばやしいせき とよしげかみかんばらいせき2							
書名	倉谷西中田遺跡Ⅱ 倉谷荒田遺跡Ⅱ 豊成叶林遺跡 豊成上神原遺跡Ⅱ							
副書名	一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	XXⅢ							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	51							
編著者名	濱隆造、原田克美、門脇隆志、八峠興、高橋章司、中村茂央、木村健明、大谷祐司、野津旭、松田重治							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL (0857) 27-6711							
発行年月日	2013(平成25)年3月8日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
くらだにしなかだ 倉谷西中田遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちようくらだにあざ 大山町倉谷字 にしなかだ 西中田	313866	大山 4-327	35°30'32"	133°31'50"	20111007 ～ 20111202	1,250 m ²	一般国道9号 (名和淀江道 路)の改築
くらだにあらた 倉谷荒田遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちようくらだにあざ 大山町倉谷字 あらた 荒田	313866	大山 4-328	35°30'30"	133°32'08"	20110418 ～ 20111207	3,818 m ²	一般国道9号 (名和淀江道 路)の改築
とよしげかのうばやし 豊成叶林遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちようくらだにあざ 大山町豊成字 かのうばやし 叶林	313866	大山 4-335	35°30'30"	133°32'12"	20100818～ 20101214 20110427～ 20111207	2,998 m ²	一般国道9号 (名和淀江道 路)の改築
とよしげかみかんばら 豊成上神原遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちようくらだにあざ 大山町豊成字 かみかんばら 上神原	313866	大山 4-336	35°30'30"	133°32'21"	20110418 ～ 20110824	2,992 m ²	一般国道9号 (名和淀江道 路)の改築
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
くらだにしなかだ 倉谷西中田遺跡	その他	縄文時代		落とし穴(3基)		縄文土器		
	集落	古代		掘立柱建物跡(1棟)、 土坑(4基)		製塩土器	土坑内から製塩土器が出土。	
くらだにあらた 倉谷荒田遺跡	その他	縄文時代		落とし穴(4基)、 土坑(2基)		縄文土器		
	集落	古墳時代		竪穴住居跡(3棟)、 掘立柱建物跡(1棟)		土師器		
	その他	中世				土師質土器、 陶磁器、 鉄滓		
	その他	時期不明		溝(1条)、 土坑(2基)				
とよしげかのうばやし 豊成叶林遺跡	その他	旧石器時代		石器ブロック(2基)		ナイフ形石 器、石核、 剥片	A T層下位の石器ブロッ ク	
	その他	縄文時代		落とし穴(3基)		縄文土器		
	集落	弥生時代		竪穴住居跡(1棟)		弥生土器		
	その他	中世		テラス状遺構(3基) 溝(1条)、土坑(3基)、 集石遺構(1基)、ピット群 (1)		土師質土器、 五輪塔		
	その他	時期不明		溝(7条)、土坑(3基)、 集石遺構(2基)				
とよしげかみかんばら 豊成上神原遺跡	その他	時期不明		土坑(2基)、溝(2条)		石鏃		

要 約	<p>倉谷西中田遺跡は、平成21年度に遺跡の大部分(1・3・4区)の調査を終えており、今回は2区の調査を行った。調査の結果、縄文時代の落とし穴、奈良時代の土坑、3区から続く中世の道路状遺構などを検出した。奈良時代の土坑からは製塩土器が出土している。</p> <p>倉谷荒田遺跡では、縄文時代及び古墳時代の遺構・遺物、中世の遺物を確認した。縄文時代については落とし穴を含む土坑を検出し、遺構外から縄文土器・石鏃が出土している。古墳時代は前期の竪穴住居跡・土坑、中期の竪穴住居跡、後期以前の掘立柱建物跡を検出した。遺構の内外から土師器や鉄製品が出土している。中世の遺物としては土器、陶磁器、鉄滓が出土している。</p> <p>豊成叶林遺跡では、旧石器時代から弥生時代と中世に属する遺構及び遺物を確認した。旧石器時代では、始良丹沢火山灰(AT)の一次堆積層直下で2基の石器ブロックを検出した。石器ブロックはいずれも玉髓を母岩とするものであり、ナイフ形石器の製作を意図したものである。石器ブロック内の接合関係から、石器剥離の過程が明らかとなった。また、石器ブロック2内からは炉跡を検出しており、旧石器時代のキャンプの様相がうかがえる。縄文時代では、落とし穴と考えられる土坑を3基確認し、狩猟の場として機能していたことが分かった。弥生時代では、竪穴住居跡を1棟確認した。中世の遺構は、段状遺構、溝を中心として、各遺構が関連して存在していると考えられる。個々の遺構からは性格をうかがうことは難しいが、五輪塔などの出土遺物から、墓域としての機能を担っていた可能性が指摘できる。</p> <p>豊成上神原遺跡は、遺跡の東半部の調査を行い(西半部は平成21年度に調査済み)、土坑2基、溝2条を検出した。遺構外から石鏃が出土している。</p>
-----	---

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 51

一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書X X III

鳥取県西伯郡大山町

**倉谷西中田遺跡Ⅱ 倉谷荒田遺跡Ⅱ
豊成叶林遺跡 豊成上神原遺跡Ⅱ**

発行 2013年3月8日

編集 鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

電話(0857)27-6711

発行者 鳥取県埋蔵文化財センター

印刷 株式会社鳥取平版社

〒680-0845 鳥取市富安1丁目79番地

